

■まちづくり協議会を設立しました

令和6年12月8日(日)14時から、浄るりシアターの小ホールにおいて**宿野四区・大里・柏原地区まちづくり協議会**の設立総会が開催されました。

会員数76名のうち、出席23名、委任状出席30名、合計53名が出席されました。

これにより、宿野四区・大里・柏原地区の土地区画整理事業や産業誘致の実現に向けて、より詳細に検討できる組織としてスタートすることとなります。



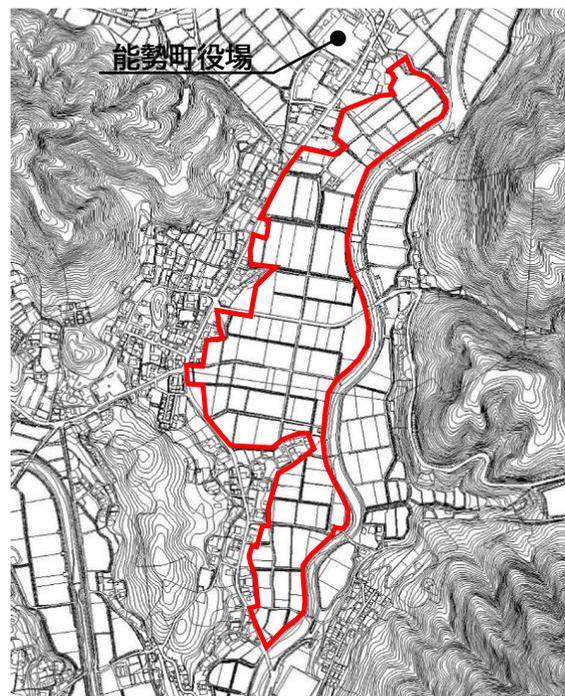
総会の様子

まちづくり協議会の対象地域

既存の農地を産業用地として土地利用転換できるように取り組むためには、以下の条件が必要となります。

- ①市街化区域に隣接し、市街化区域と一体となったまちづくりが可能であること
- ②府道等の基幹道路の沿道であること
- ③下水道や水道等のインフラが整備されていること

宿野四区・大里・柏原地区はこれらの条件を満たしていることから、まちづくり協議会の対象地域は、宿野下田線と大路次川に囲まれた範囲(右図の赤囲み)とします。



設立総会の議決事項

第1号議案『協議会規約』及び第2号議案『役員を選任』について、賛成多数で可決されました。また、役員の中から互選により会長、副会長、理事が選任されました。

会長(1名)	川本 辰雄(宿野四区)
副会長(2名)	森下 昭彦(大里区)
	菅沼 肇(柏原区)
理事(4名)	小栢 佳文(宿野四区)
	谷口 延彦(大里区)
	上山 正己(柏原区)
	久慈 真里(大里区)

(順不同、敬称略)



中島副町長のあいさつ

本町は長年にわたり農業基盤の保全に全力を尽くしてきましたが、高齢化や後継者不足により担い手が減少する中において、全ての農地を保全することは困難となってきております。

そこで本町では、市街化区域に隣接する幹線道路沿道の農地を多様な産業用地として利活用し、地域コミュニティの維持・活性化につなげたいと考えております。

本日、まちづくり協議会が設立されることは、新たなまちづくりの礎となる大変大きな第一歩となりました。地域の皆さまと行政が互いに連携しながら取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

川本会長のあいさつ

これから協議会として『事業化検討パートナー』の募集、選定を行い、パートナーとともに、将来の土地利用方針を示した「まちづくり構想」の策定に向けて活動してまいります。

また、意見交換やアンケートの実施、講習会、視察会の開催などに取り組むと共に、今後の進め方について理事会が中心となって検討を行い、会員の皆様にお諮りしていく事になります。

今後、協議会の活動をより活発なものにするため、皆様も是非積極的にご参加くださいますよう、よろしくようお願い申し上げます。

総会における質疑応答

Q.地権者アンケートを令和2年に実施したことを初めて知ったのですが、この地区の農地所有者が対象だったのですか？

A.令和2年のアンケートは、宿野四区・大里区・柏原区だけではなく能勢町全域の農地所有者が対象です。

Q.大里区の説明会には何名出席されましたか？

A.12名が出席されました。

Q.この事業にかかる費用は算定してるのですか？

A.事業費を含めた事業採算性や、構想図の策定、企業誘致について、土地区画整理事業の実績のある企業の協力を得て検討を進めていきます。ある程度検討を進めた段階で、このまま事業を継続するかについて、皆さまに諮ることとなります。

■今後の予定について

第2回総会（令和7年2月頃予定）

①まちづくり構想図の決定

設立総会で皆さまからいただいたご意見を反映させた『まちづくり構想図』を基にまちづくりの検討を進めることについて、総会に諮りたいと考えております。

なお、まちづくり構想図は『基本構想』なので、まちづくりの検討と共に内容は刻々と変わっていきます。

②事業化検討パートナーの募集

まちづくり構想図を基に、協議会と共にまちづくり検討を行う民間企業『事業化検討パートナー』を募集することについて、総会に諮りたいと考えております。

事業化検討パートナーの募集・決定（令和7年2月～6月頃予定）

第2回総会で募集の承認が得られましたら、令和7年2月頃に募集を開始します。

企業からの提案書の提出を受け、5月頃に理事会において提案内容の審査を行います。

理事会にて検討パートナーの候補者を選定し、6月頃に開催予定の第3回総会に諮りたいと考えております。